

## 西胆振地域リハビリテーション推進会議 22 年度活動状況

### （活動目標）

保健、医療、福祉、介護分野が連携し、地域住民に対し適切なリハビリテーションサービスが提供されるよう、その支援体制を整備する。

### （目標に向けた取り組み）

理事会、総会(年 1 回)、運営委員会(毎月 1 回)

会議発足から 8 年が経過し、これまでの活動を再評価し、活動を継続することの意義や今後の方向性等について検討することを最優先課題とした。

- ・圏域内の地域リハビリテーション従事者を対象にアンケート調査実施

有効回答 654 通。当会議の事業を認識している人もいるが、個人レベルでは「知らない」が多い、どちらも研修会の開催や事業の継続を望む声、事業内容を知りたいという声が多かった。

- ・市町村対象のアンケート(3市3町) および懇談会(1市3町)実施

当会議の継続を望む一方、「街づくり」という言葉をあえて使う必要はないのでは、高齢者の医療介護分野だけがリハビリテーションではないが、地域の実状や運営の負担を考えればできる範囲、分野から活動するとよいのではとの意見が多数。

西胆振全体ではなく各地域のニーズを細かく把握し対応していくと活動もしやすくなりそう。事業計画にあるからこなすではなく、各地域行政、職能団体と連携をとり課題を明確にしながら、より必要とされる研修会、使えるネットワーク事業を行っていくことから再度取り組む。小さな活動でもその都度地域や、多職種、団体を巻き込んでいくようにすると活動も広がっていくのでは...等、今後の方向性が少し見えてきた。

研修会開催

アンケート結果も踏まえこれまで参加が2~3名しかいない2町での研修会を開催してみようと行政に研修会を提案。地域のより細かな現状について、またどのような研修内容が良いか話し合い企画した。

- ・豊浦地区「高齢者の特性～いつまでもお元気で！」2月7日 64名参加
- ・壮瞥地区「皆さんは『認知症』を本当にご存知ですか？」3月7日予定

講師バンク派遣：5件

その他：脳卒中専門部会への委員派遣

### （活動の達成度）

3. 資源を分析～4. 問題点、必要なことを探る

### （現在の問題点、困っている点）

事務局の運営、運営委員の構成、負担等検討課題は多い。

### （地域に向けての活動）

住民に向けての直接的な活動はしていない。

\* 日程については2月中旬以降を希望。案内はできる限り早目に、電子データでいただきたい。